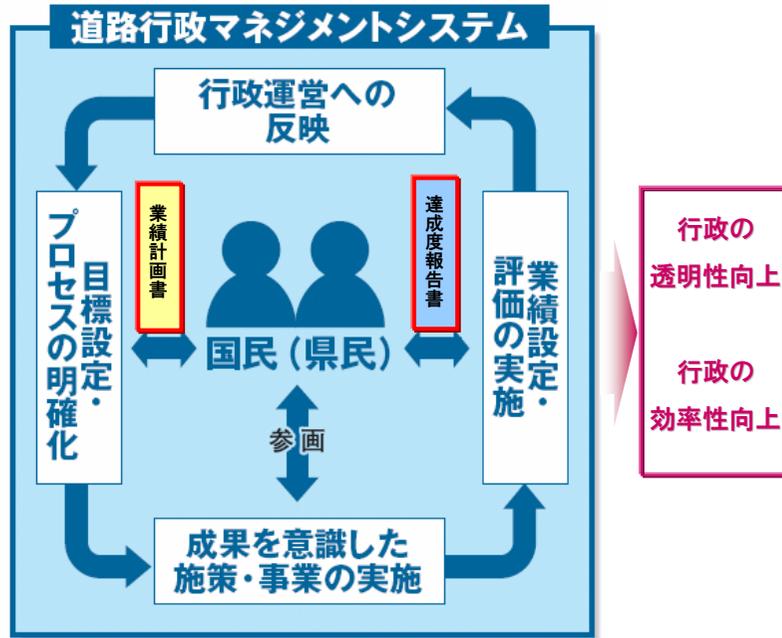


「成果志向の道路行政マネジメント」が始まっています。

「成果志向の道路行政マネジメント」を実現するための3つの柱と4つの戦略

より透明性の高い、効果的かつ効率的な道路行政運営へ転換していくために、3つの柱と4つの戦略を掲げ、国民の視点から見た「成果志向の道路行政マネジメント」の実現に取り組んでいます。



マネジメントにおける3つの柱(主旨)

1 年度毎のマネジメントサイクルの確立

事前に数値目標を立て、事後の達成度評価による結果を、以後の行政運営に反映するしくみを確立します。

2 わかりやすさと実現性の両立

道路利用者にとってのわかりやすさと、実際の行政運営に反映可能な実現性を両立します。

3 国民と行政とのパートナーシップの確立

数値目標やその達成度を公開し、道路マネジメントへの国民の参画を図ることでパートナーシップを確立します。

実践のための4つの戦略

1 目標と指標の設定

政策目標ごとにアウトカム指標を設定します。

2 効率的なデータ収集

指標による政策評価に必要な交通量などのデータ収集を毎年効率的に行うシステムを構築します。

3 毎年度の業績計画の策定及び達成度の把握

毎年度、数値目標を設定し、達成度を評価します。

4 アカウンタビリティの推進

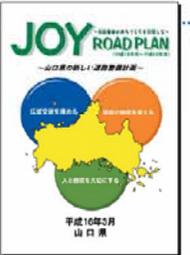
毎年度、数値目標や、その達成度等を「業績計画書」及び「達成度報告書」として公表します。

山口県における「道路行政マネジメント」への取り組み

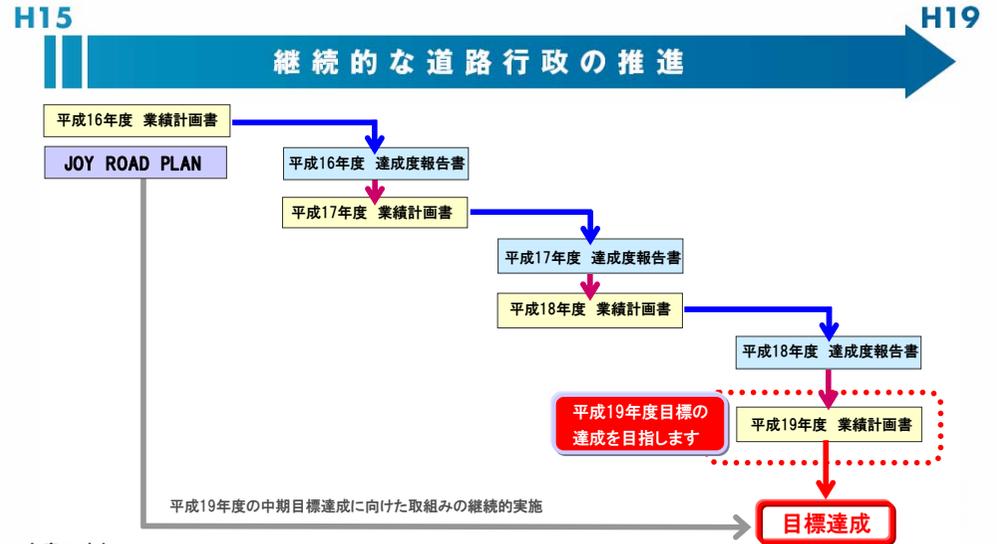
政策テーマ毎にアウトカム指標を設定

山口県では、道路整備の課題と県民の意見を踏まえ、平成15年度から平成19年度までの新しい道路整備計画を「JOY ROAD PLAN」として策定し、4つの政策テーマを設定しています。

これに対し、道路行政マネジメントへの取り組みは、平成15年度からの全国レベルでの取り組みを受けて、平成16年度からスタートしていますが、4つの政策テーマとアウトカム指標を体系化することにより双方の取り組みを統合し、平成19年度までの目標に向け、年度毎に目標値の達成状況の評価や業績計画を行います。



■道路行政マネジメントシステムによる道路行政の流れ



■本書の流れ

